

平成 2 7 年 度 同 好 会 事 業 報 告

哲 学 同 好 会 世話係名 宮坂俊之 会長名 市村雅之

月 日	実 施 し た 事 業 内 容	参加人員
7 月 4 日	講演会「ふるさと内山塾」への参加 講師 内山 節 先生（哲学者） 演題「現代社会を生きる－現代社会と宗教－」 講演内容 現代社会を生きる中で，私達は宗教とどう向き合って暮らしたらいいのか話していただいた。 場所 須坂シルキーホール	4 人
7 月 3 1 日	夏季講演会及び哲学を語る夕べ 第一部 講師 業田 昭映 先生 （普願寺 副住職／須坂市教育委員） 講演内容 「娑婆に生きている以上，何があるかわからないので，阿弥陀様と一緒に祈ることの大切さ」について話していただいた。また講演の後半には，Y U U（高橋由宇）さんの笙のコンサートもあった。 第二部 「哲学を語る夕べ（懇親会）」 場所 普願寺	1 2 人

本年度の哲学同好会は会員十九名で発足しました。

まず，七月に行われたのが，「ふるさと・内山塾」でした。昨年度まで講演をしていただいた東京大学名誉教授で，現在，鎌倉女子大学教授の竹内整一先生の講演会に引き続き，今年度からは哲学者の内山節先生を講師に招いて「現代社会を生きる～現代社会と宗教～」の演題で講演をしていただきました。内山先生からは，すべての物事はつながっていると考え，その無事を願い祈りながら支え合っていた昔の地域社会を再評価することについて，お話をいただきました。

夏休みには，毎年恒例の夏期講演会が行われました。今年は二部構成でしたが，第一部で普願寺副住職，業田昭映先生のご講演の後，笙の演奏家であるY U U（高橋由宇）

さんのコンサートが入ることになり、第二部の「哲学を語る夕べ（懇親会）」も含めると三部構成と言ってもよい充実した内容となりました。まず、業田先生からは「娑婆に生きている以上、何があるかわからないので、阿弥陀様と一緒に祈ることの大切さ」について話していただきました。また第一部の後半のY U U（高橋由宇）さんのコンサートでは、なかなか実際の音色を聞く機会もない笙の生演奏を聞くことができ、感動しました。そして夏季講演会の最後は、お待ちかねの「哲学を語る夕べ（懇親会）」でした。今年も美味しいお肉と冷えた生ビールの味は格別でした。この会には、Y U Uさんと彼のコンサートを聞きに来るために遠来から来た方々も参加して、楽しい夜となりました。

毎日忙しい日々が続き、ともするとその忙しさにただただ流されてしまいがちな中で、自分自身や日々の生活を振り返ることができる、哲学同好会の活動はとても貴重だと実感しました。

（会長 市村 雅之）